

京都市立芸術大学第29回

# 留学生展

京都市立芸術大学第29届留学生展  
교도시립예술대학제 29회유학생전

The 29th International Students' Exhibition  
Kyoto City University of Arts

制作者名 Name	作品題名 Title	サイズ Size
出身国 Nationality	制作意図 Commentary	作品の技法/素材 Technique / Material
所属専攻 Department		制作 Production Year

陸 瑋妮 Lu Wei Ni  
ル ウェイニ

台湾 Taiwan  
版画 Print making  
修士2

Tree Portrait #04

H 58 cm × W 80 cm  
シルクスクリーン/  
ステンボードに水性インク,  
油性インク, メジューム  
2018

風景の輪郭; ファウンドフォト

H 30 cm × W 25 cm 1点  
H 25 cm × W 30 cm 1点  
シルクスクリーン/  
ファウンドフォト, 油性インク  
2018

「描く」という作業を通して、新たな風景をシルクスクリーンで刷り上げました。

Mbugha Meni  
ムブーガ メニ

コンゴ Dem. Rep. of Congo  
染織 Dyeing and Weaving  
修士2

蛇の目 (村時雨)

H 80 cm × W 90 cm × D 90 cm  
草木染, 藍染, 摺箔/絹布, 綿糸  
オブジェ  
2018

この作品は、秋の雨の日に京都の祇園の地に行った経験の表現です。ジャノメ模様の赤い和傘を持っていた舞妓さんと出会いました。その束の間の時間が私の記憶に残っています。

姜 登耀 Chiang Teng Yao  
キョウ トウヨウ

台湾 Taiwan  
デザイン Design  
修士1

Unstable

H 50 cm × W 35 cm × D 37 cm  
合板成形による/鉄, 竹材  
2018

バランスボールのメカニズムで作った体感を鍛える座具です。

鍾 鳴 Zhong Ming とある夢 H 10 cm × W 47 cm × D 100 cm  
 ショウ メイ 手びねり／陶土

2018

中国 China  
 工芸 (陶磁器) Craft(Ceramics)  
 修士 1

ある夢の中で、私は火山の連峰の間でまるで飛ぶ車に乗っているようでした。俯瞰したり、山の中にいたり、その壮大な風景は、目覚めたあとも頭から離れませんでした。山々たちが連なる様が、まるで人が絆でつないでいるように、生命感と力強さが溢れていました。そのため、あえて「土」という素材で、土のままの色を使い、作品を作りました。

宋 歆怡 Song Xin Yi  
 ソウ キンイ

変化の姿

H 17 cm × W 36 cm × D 28 cm  
 タタラ成形／陶土

2018

中国 China  
 工芸 (陶磁器) Craft(Ceramics)  
 修士 1

「一枚の陶片」という単純な形態を元にし、イメージを広げ、張りがある造形を表現します。  
 また、それらを変化させ、シリーズとして制作を行っています。

余 抒霞 Yu Shu Xia  
 ヨ ジョカ

TROUBLE

H 35 cm × W 53 cm × D 40 cm  
 手びねり／陶土

2018

中国 China  
 工芸 (陶磁器) Craft(Ceramics)  
 修士 1

暴走する脳みそ！！

詹 涵逸 Chan Han Yi  
 チャン ハンイ

読み方について

H 12 cm × W 12 cm × D 10 cm  
 紙, アクリル板

2018

台湾 Taiwan  
 構想設計 Concept and Media Planning  
 修士 1

映像の断片を印刷した複数の本を作りました。本という伝統的なメディアに対して我々が慣れ親しんだものと違う読み方を考察し、新たに読む体験を作ることを試しました。

張 瑜芳 Chang Yu Fang  
 チョウ ユホウ

This is not Taiwan maze soba.  
 Is this Taiwan maze soba?

映像／映像, 紙, OHP フィルム  
 2点

2018

台湾 Taiwan  
 構想設計 Concept and Media Planning  
 修士 1

名古屋発祥のご当地グルメ「台湾まぜそば」は一体どんなものなのか。日本と台湾で一回ずつ「台湾まぜそばを作る」ワークショップを行い、参加者たちと一緒に境界線を超えてイメージを膨らませました。

楊 姝菲 Yang Shu Fei  
 ヨウ シュヒ

「パツ」

H 21.5 cm × W 10.3 cm  
 デジタルメディア

2018

中国 China  
 ビジュアル・デザイン Visual Design  
 修士 1

泡みたいに、頭の中に「パツ」と開いた考え。

林 婷 リン テイ Lin Ting	絵本「不思議な望遠鏡」	H 29.7 cm × W 21 cm 着彩, 切り絵/水彩, 色鉛筆	2018
中国 China ビジュアル・デザイン Visual Design 修士 1	私たちが見ている世界の色が美しいですが、実は動物たちの目から見る世界は違います。子供向けの「目」をテーマした絵本作品です。		
関 人愷 カン ジンガイ Guan Ren Kai	ハニワ？	H 50 cm × W 40 cm × D 100 cm 手びねり/陶土	2018
中国 China 工芸 (陶磁器) Craft(Ceramics) 修士 1	大衆文化と古い日本文化の融合、外国人の視点で「POP」の面白さを表わしています。		
金 旼秀 キム ミンス Kim Min Soo	夜霧 (YAMU)	H 102 cm × W 42 cm × D 40 cm 化学染料, 綿, 金, 銀粉	2018
韓国 South Korea 染織 Dyeing and Weaving 修士 1	日本の秋の季語、夜霧をモチーフに現代の韓服 (チマ・チョゴリ), チョリツクワンピースを制作しました。		
周 妍 シュウ ケン Zhou Yan	You know nothing about true love and happiness	H 66 cm × W 80.5 cm H 61 cm × W 70.5 cm H 20 cm × W 20 cm 3点 油彩/キャンバス	2018
中国 China 油画 Oil painting 研究留学生	作品は親密な関係の中から自我の解釈について、絵を描きました。事物に個人的なイメージを与えることを試しました。		
殷 之貝 イン シカイ Yin Zhi Bei	静かな夜	H 6 cm × W 70 cm × D 40 cm 板づくり, 色絵付/白土など	2018
中国 China 陶磁器 Ceramics 研究留学生	この作品は加山又造の絵画からヒントを受けました。波線で水の流れを表し、更に作品の造形によってその立体感を際立てます。全体的に海碧の色で夜の基調を定め、水にそびえ立つ紅葉した山々と合わせて、夜の静寂や秋の風景を表しています。また、左上に穴が開いています、それは水面に映ったお月様の投影です。作品に紅葉した山々は上から下へ、また左から右へと散見されていて、風景が広がっているように見えます。		
刘 信 リュウ シン Liu Xin	『燕子花図屏風』 (右隻 1/2.5 の縮尺模写)	H 61 cm × W 185 cm 紙本彩色, 箔貼り/膠彩, 金箔	2018
中国 China 日本画 Nihonga 研究留学生	尾形光琳の代表作 (1701 年頃) のひとつ。「伊勢物語」に取材するが物語性を排除し、8つの燕子花の群れのリズムカルな配置と、金緑青、群青の明快な色彩効果を主題としている。六曲一双の金地の屏風なのだが、今回の模写された部分は右隻の六曲である。		

肖 力三 Xiao Li San  
ショウ リーサン

ポートフォリオ 2012-

2018

中国 China  
環境デザイン Environmental Design  
研究留学生

私の作品。

第一部: 研究と繋がる作品, 地域性を活かすためのやること

第二部: 形へのアプローチ, ○○から造形へ

第三部: 環境デザインのボーダーライン

沈 楠 Shen Nan  
シン ナン

Adios

H 143 cm × W 110 cm, H 20 cm × W 70 cm × 30 cm

日本画技法/岩絵の具, 麻紙, 石粉粘土

2018

中国 China  
日本画 Nihonga  
研究留学生

私はこの解体や再解釈の時代に居て, 何かが不具合を起こしている時に, 自分の中身を自分で覗くように内省して, 制作前の自分とおさらばしている。

梁 蘭若 Liang Lan Ryo  
リョウ ランジャク

中国の服

H 40 cm × W 60 cm

銅版画

2018

中国 China  
版画 Print making  
研究留学生

日本では, 外国文化が日本に与える影響を感じましたが, 伝統文化の力が弱くなっていません。

でも, 中国は伝統文化のものがどんどん少なくなっていると感じます。中国人は大切な祝日でも伝統的な服飾を着なくて, 伝統的な服飾に関する着方やこだわりなどに興味を持っていないようです。さらに, 模様や様式のデザインはどうやって伝統的な服飾の標準に合うかを知りません。

伝統文化にはたくさん勉強になるものがあると思います。中国経済が急速に発展しているが, 中国人はトレンドをひたすら追いかけて, 新しい物事に影響されて, 自らのアイデンティティがなくなっていますが, 私はこのことに対して伝統文化を守るべきだと考えています。

封 懿航 Feng Yi Hang  
フウ イコウ

クスノキ公園

2016

中国 China  
環境デザイン Environmental Design  
研究留学生

環境デザインは「環境を守る」, 「自然を作る」, そして「景色を作る」の芸術です。

このクスノキ公園は, 地域の環境を改善し, 古木を保護する, 周りの住民に休憩処を提供するという設計の目的として提案しました。

銭 俊楠 Qian Jun Nan  
セン シュンナン

不倒翁

H 16 cm × W 7 cm × D 7 cm

3D プリンター, Arduino (ワンボードマイコン) / 石膏

2018

中国 China  
プロダクト・デザイン Product Design  
研究留学生

夜中に『トイレに行きたい, でも怖い』という思いを多くの子供が持っているという事に気づき, 一人でトイレまで行って, 戻るまでを考えてデザインする対象を選ぶことにした。

柳 濟閏 Ryu Je Yoon  
リュ ジェユン

### 韓国伝統の再解釈

H 14 cm × W 22 cm × D 21 cm  
H 35 cm × W 35 cm × D 42 cm  
H 20 cm × W 20 cm × D 39 cm  
ロクロ成形/陶土(赤土), 白化粧  
上絵, セラミックペンシル, 透明釉  
2018

韓国 South Korea  
陶磁器 Ceramics  
研究留学生

韓国陶磁史の時代別に代表される陶磁器である高麗時代の梅瓶, 高麗と朝鮮初期の間の粉青沙器依壺, 朝鮮中後期の月壺を形にして選び, その上に韓国の伝統模様の部分を, 民画を自分だけの再解釈で表わし, 現代化の可能性を探求しました。

周 逸喬 Zhou Yi Qiao  
シュウ イツキョウ

### 粧 I 粧 II

H 20 cm × W 20 cm 3点  
H 25 cm × W 25 cm 5点  
漆絵/漆, 螺鈿など

2018

中国 China  
漆工 Urushi Lacquering  
研究留学生

『紅樓夢』という中国の清の時代小説を題材にして, カラフルなパネルを作りました。自分のイラストから生まれた独特のキャラクターや色遣い, 雰囲気などを表現します。

その時代の纏足や, 化粧, 衣装などの風習の面白さを伝えたいです。

易 以柔 Yih Yi Roh  
イー イロウ

### 物 001 (object001)

サイズ可変  
藍染/麻  
2018

台湾 Taiwan  
染織 Dyeing and Weaving  
研究留学生

日常の中のものの材質を変化させ, 日常の中に非日常を出現させることができる。

盧 琬京 Lu Wan Jing  
ロ エンキョウ

### 扇面法華経の下絵の想定復元

H 58 cm × W 76 cm  
日本絵画技法/和紙, 岩絵具, 金, 銀  
2018

中国 China  
保存修復 Conservation  
研究留学生

扇面法華経は平安時代から伝わり, 扇形の紙に貴族や庶民の営みを描き, 絵の上に法華経を写す装飾経です。

今回は扇面法華経冊子の一枚の内容を例として下絵の部分の復元模写にしました。作品は白麻紙を本紙として, 雲母を地塗りして金銀の切箔を散らし, その上に肉筆で描き, 様々な色を使って, 本来の絵の華やかさを再現しました。想定復元を通じて, 料紙の作りを体験し, 伝統的な絵画技法を勉強できました。

### 木版摺絵和歌巻

H 59 cm × W 130 cm 2点  
日本画技法/  
紙本, 金泥・銀泥(イミテーション)

2018

木版摺絵和歌巻は, 木版の型文様を顔料で摺った料紙に, 詩歌集を散らし書きした巻物という形式で, その書画一体の構成は独自の趣きになります。今回の作品は「花弁に鶴摺繪千載和歌巻」の一部を参考として, 同じ蔦の模様を用いて, 恋歌の主題の和歌を模写しました。それに基づいて, 顔料と模様の組み合わせの置換を通じて, 新たに創作しました。

熊 骁 Xiao Xiong  
ユウ ギョウ

### Self-Portrait

H 60 cm × W 40 cm  
油彩／油絵具，麻キャンバス  
2017

中国 China  
油画 Oil painting  
研究留学生

This work was my first self-portrait as well as the first portrait in oil paint. Like many artists, who made self-portraits for each stage of their life. In some sense, making a self-portrait could be an adequate way to record the memory of a person's social life. This photo was taken at Adelaide when I was doing the master program in Australia 2016. Whenever I look at this painting, I still can touch the feeling of studying and living in Australia, which was a beautiful and unforgettable experience. There are still a lot of unsolved technical issues in this work. I hope that I can solve them as soon as I can.

この作品は私の初めての自画像であり，初回目の油絵の肖像画でもある。アーティストたちが人生各段階で自画像を書くことはよくみられる。なぜなら，自画像とは自分の人生を刻み遺せる鮮明な表現力を持つ手段であるからだ。これは私が2016年にオーストラリアで修士在学中の一枚目の写真をモチーフにした作品である。この作品を見るたびに，その頃の美しい思い出が心に浮かび上がる。厳密に言えばこの作品において，多くの技術的な問題が存在している。私はこれからの京芸の在学期間を大切に，すべての問題と向き合い，解決することを切に願っている。

賀 蘭 He Lan  
ガ ラン

### 私の第25個夢

H 20 cm × W 65 cm  
漆（漆絵）／漆，螺鈿，卵殻，寒冷紗  
2018

中国 China  
漆工 Urushi Lacquering  
研究留学生

この作品は，私が大学を卒業してから3年を経て，複雑な喧騒の社会から学生生活に戻る25歳の節目としての，儀式のような創作となりました。これからこの新しい都市で新しい展開が始まります。

路 竣甲 Lu Jun Jia  
ロ シュンコウ

### 扉

H 180 cm × W 110 cm  
ろうけつ染，糊防染による引染／  
木綿，シリアス染料 メープログラム，パ  
ラフィン 135° F(ベレット状)，木蠟  
2018

中国 China  
染織 Dyeing and Weaving  
研究留学生

扉を開けて外を観測しようと思ひ，でもまた動きを出していない状態での扉の向こう側のものの状態を表したい作品を作りました。

量子力学のなかでホイーラーの遅延選択実験 (delayed choice experiment) があります。1978年にジョン・ホイーラー (John Wheeler) によって提唱された思考実験で後に実験によって確かめられました。

結論を言えば，人の観測するかどうかによって，物の状態が変わります。人は観測しようとしていない状態のものは不安定な状態で，観測してしまうと，量子のものはcollapse状態になり，確定なものになるという一説がよく知られています。

冯 相涵 Feng Xiang Han  
ヒョウ ソンカン

海

H 230 cm × W 25 cm  
平織／羊毛

2018

中国 China  
染織 Dyeing and Weaving  
研究留学生

日暮れ時の海の景色を見た後に心を打たれた、その感じを伝えたい。  
真青の海と火のような紅霞は、一生忘れない絶景です。

關 正政 Kuan Cheng Wen  
クワン チェンウエン

ミサキ

H 84.1 cm × W 59.4 cm  
ろうけつ染, 刺繍／糸, 染料, 布

2018

台湾 Taiwan  
染織 Dyeing and Weaving  
研究留学生

熊野神社の神使として、神武天皇を導くため天照大神から遣わされた鳥一八咫鳥をテーマにした作品を作りました。  
ろうけつ染めで生地を染め、その上刺繍を用いて立体感を増やし、画面の中の物がもっと生き生きしたいと思い、制作をしました。

朱 艺然 Zhu Yi Ran  
シュ ゲイゼン

Sleeping Sheep

映像  
2018

中国 China  
構想設計 Concept and Media Planning  
研究留学生

ある日、彼女は羊になった自分が塔を登った夢を見た。夢の中で、傷されることは運命だと気がついた。目が覚めたら、現実世界の自分も羊になった。  
今作は、無意識と運命について考えたものを隠蔽的に表現した。

趙 思凡 Zhao Si Fan  
チョウ シファン

ダキニ天に関する試論

論文  
2018

中国 China  
芸術学 General Science of Art  
交換留学生／中央美術学院 (CAFA)  
Exchange student  
from Central Academy of Fine Arts

ダキニ（荼吉尼天, Dakini）はインドと日本の神話、宗教、物語などによく登場するもので、インドには左道の信仰の対象として、密かに信仰されていました。古代インドでは、ダキニは食人神とし、また邪な願いの神として恐れられていました。  
しかし、日本では全く違った形で発表されました。  
なぜ彼女は美人になるのですか？なぜダキニと狐は関係があるのでしょうか？  
実はこれは、仏教が交流した時代に発生した神仏習合思想のひとつで、インドのダキニ天は日本の神が化身したものだからです。現世の利益のために、僧人たちは本来の仏教のダキニを正しいものに変えました。これは避けられない現象です。  
この論文ではこの現象について説明しています。

Joséphine Topolanski  
ジョセフィーヌ トポランスキ

フランス France  
版画 Print making  
交換留学生/国立高等装飾美術学校  
(ENSAD/アールデコ・パリ)  
Exchange student  
from École nationale supérieure  
des Arts Décoratifs

Guy t'es chiant.  
(Guy you're a pain in the ass)

H 78 cm × W 56 cm  
エッチング Etching / 銅版 Copper  
2018

My print is about a dialogue between two characters diving in the sea. They are not humans, they seem to belong to another species. They discuss how one of them removes the mist from his mask.

Through an ironic dialogue I mock the fact that if there were other species on another planet, they would be just as anxious and pessimistic as humans.

I like to mix ancient techniques, like etching, with more contemporary visual aspects, like illustration. I also work on the question of storytelling, and grapple with formatting issues pertaining to short-story media such as comic strips, by playing with an image which can be read in two different ways.

私の作品は海に潜る2人の登場人物の対話が中心になっています。人間とは別の種族のように見える彼らは、2人のうちどちらがどうやってゴーグルの曇りを取り除くかについて話しています。

別の惑星に別の種族がいたとしても、彼らは人間と同じく心配性で悲観的であるということを皮肉な対話を通して私は嘲笑しています。

私は銅版画といった伝統技法とイラストのような現代の視覚要素を組み合わせるのが好きです。そしてストーリーテリングの問題について、二つの異なる読み方ができるイメージを用いて、ストーリーテリング、及びコミックストリップのような短い物語の形式について取り組んでいます。

Léna Martinez  
レナ マルティネズ

フランス France  
油画 Oil painting  
交換留学生/国立高等装飾美術学校  
(ENSAD/アールデコ・パリ)  
Exchange student  
from École nationale supérieure  
des Arts Décoratifs

TROUPEAU

H 60.6 cm × W 44.5 cm  
油彩, ファウンド・フッテージ, 2Dアニメーション  
Oil painting / Found footage, Animation 2D  
2018

In French the word TROUPEAU means herd. It's also about animal flesh: TROU means hole and PEAU, skin. The purpose is to show a shared flesh perforated. There I would like to borrow some Deleuze's words :

"Meat is the common zone of man and beast, their zone of indiscernibility; it is a 'fact', a state where the painter identifies with the objects of his horror and compassion."

Gilles Deleuze, Francis Bacon Logique de la sensation, 1981

フランス語で TROUPEAU という言葉は「群れ」を意味します。それは獣肉のことでもあります。「TROU」は穴、「PEAU」は皮膚を意味します。この作品は、穴のあいた生身の状態を見せることです。

ここにドゥルーズの言葉を引用します。

「肉は人と獣の共有地帯であり、両者の識別不可能な地帯である。それは「事実」であり、画家が恐怖と情熱への対象を識別する状態だ。」

ジル・ドゥルーズ、フランシス・ベーコン 『感覚の論理学』 1981



Joy Bonfield-Colombara  
ジョイ ボンフィエルド コロンバラ

イギリス/イタリア U.K. / Italia  
漆工 Urushi Lacquering  
交換留学生/  
ロイヤル・カレッジ・オブ・アート (RCA)  
Exchange student from  
Royal College of Art London

Yamanba (山姥)

H 5 cm × W13.5 cm × D 5 cm  
漆, シルク, 銀, 木材  
Urushi, silk, 925-silver and wood

Capturing the moons reflection  
(月の反射を捕らえる)

H 8 cm × W 6.5 cm × D 6 cm  
木材, タヒチ産黄真珠, 漆, Wood, 金  
Tahitian yellow pearl, Urushi, Gold

Hair-(b)-urushi (ヘア” - 漆)

H 40 cm × W 2 cm × D 2 cm  
漆, 人毛, 竹材  
Urushi, human hair, Bamboo

Body Memory (体の記憶)

Film still from collaboration with Meri

H 42 cm × W 29.7 cm  
写真  
Photo

Yanagi (柳)

H 42 cm × W 29.7 cm  
コラーージュ/漆塗櫛 (制作者不詳), 紙, 塗料  
collage / Urushi combs from maker  
unknown, paper, paint

2018

The dual meaning of the word in 'petrified' is intriguing: to be so scared that one cannot move, and for organic matter like wood turning to stone over time. This is worthy of reference as it exemplifies the importance that material can have in the wider scope of language and communication. The material used to make an artwork can dictate much of its meaning. In some versions of the story of Medusa, her stare 'petrified' men - literally turning them to stone.

Medusa's hair is a focal point in my current body of work. There is a correlation between the poisonous serpents that replaced Medusa's hair, and the poisonous nature of the urushi lacquer.

This led me to look at female goddesses in Japanese folklore. I found Yamanba, in whom I observed some similarities to Medusa.

Both are depicted with big, wild hair. Often they are also beautiful women who have transformed in some way or other into monsters.

In one version of Yamanbas story, she is captured in a box. A man pours boiling water on her and she is transformed into precious metal and silk. In Medusa's story, when she is slain by Perseus, he uses her head as a weapon to save Andromeda.

Both stories culminate in the death of the female protagonist and her body transforming into some kind of asset to the man.

These objects are playful in their examination of social hierarchies, but with the undertone that we should be reconsidering how we value women and their currency in eastern and western societies.

「Petrify」という英単語には二つの意味があります。「石化した」という意味でもあり、「茫然自失状態」を表す言葉でもあります。一つの単語が多数の意味を持つように、作品に使われる素材もその作品に多数の意味を持たせることが出来ます。

私の作品は見た者を恐怖で石のように硬直させてしまうメデューサの毒蛇の髪をテーマに、毒性の強い漆を作品に使用しています。

漆の事を調べているうちに、日本の妖怪「山姥(やまんば)」の存在を知り、山姥とメデューサの繋がりに興味を持ちました。髪が特徴的な彼女達は、元々美少女だったが妖怪にされてしまう。ある説話によると、山姥を捕まえ熱湯を掛けると金属や絹に変化する。一方メデューサの生首はギリシャ神話の英雄ペルセウスの盾として使われる。共通点として彼女達は殺され、「物」になる事により価値のある存在となっています。

西洋・東洋神話に登場する女性をコミカルにモチーフにしつつ、女性に対する「価値観」の意味を考え直すべきという思いを込めてこの作品を作りました。

Ariane Alberola  
アリアンヌ アルベロラ

ON THE TRACKS OF NICOLAS  
BOUVIER IN KYOTO

映像 projection  
2018

フランス France  
構想設計 Concept and Media Planning  
交換留学生／国立高等美術学校 (ENSBA)  
Exchange student  
from École nationale supérieure  
des Beaux-arts

I want to tell stories through a projection of my photographs and some writings. I am guided by the writer Nicolas Bouvier, who lived in Kyoto during the sixties. With his spiritual help and his book « Japanese Chronicles » I walk in Kyoto and Japan , I see things and write some thoughts.

This is what I noticed, learned and perceived during my trip. Kyoto is a complex, intense and paradoxical city. Every day is an adventure.

私は自分の写真といくつかの文章の投影を通じて物語を伝えたい。私は、60年代に京都に住んでいた作家、ニコラス・ブーヴィエアの指導を受けています。彼の精神的な助けと彼の本「日本のクロニクル」で、私は京都と日本を歩き、物事を見ていくつかの考えを書いています。これは私が気づいた、学習され、私の旅行中に知覚されたものです。京都は、複雑で激しく逆説的な都市です。毎日冒険です。

Maria Martin Carrasco  
マリア マルティン カルアスコ

sumi

映像他  
projection / mixtmedia,instalation  
2018

スペイン Spain  
構想設計 Concept and Media Planning  
交換留学生／  
ロイヤル・カレッジ・オブ・アート (RCA)  
Exchange student from  
Royal College of Art London

This installation takes inspiration from the spatial constraints of a tea room.

In the space allocated to the tokonoma a scroll hosts a digital projection of an unfinished calligraphic expression.

This resembles both the beauty of choudo in tatejiku, and the inability to read the characters for most people.

このインスタレーションは、茶室の空間を元に創られています。床の間の掛け軸の代わりには、完成のない書道の映像がプロジェクションされています。縦軸の書道の美しさと、ほとんどの人にその字が読めない面白さを表現しています。

Elena Cinelli  
エレナ チネリ

Material Culture of Knowledge Transmission  
(知識の伝達の物質文化)

H 150 cm × W 100 cm  
各種染織技法／いろいろな繊維と  
顔料  
Various weaving, dyeing techniques  
／ Various fibres and pigments  
2018

イタリア Italia  
芸術学 General Science of Art  
交換留学生／  
ロイヤル・カレッジ・オブ・アート (RCA)  
Exchange student from  
Royal College of Art London

This work displays an aspect of my research on knowledge transmission in the textiles department at KCUA. During my time in the textiles department I sampled various weaving and dyeing techniques, and these samples are shown here alongside a reconstruction of the process of knowledge transmission by which they were made. This will serve as a case study for a dissertation which explores an understanding of knowledge transmissions as objects – and more specifically as designed objects – by utilizing a methodology derived from ethnography and anthropology. This particular case study features in a chapter exploring the theme of the material culture of knowledge transmission, that is, the physical evidence that is both generated by and is an agent in the transmission of knowledge.

More broadly, the dissertation makes use of historical research methods, by linking the nature of knowledge transmission to broader histories, such as the history of KCUA's textile department, from around the 1980s to the contemporary.

These historical factors themselves become agents in the networks and flows of knowledge transmission. The dissertation therefore intends to capture the elusive subject of knowledge transmission in the chosen context, and to situate this in the broader history of arts education in Japan, as well as in wider theoretical debates surrounding the transmission of knowledge.

この陳列品は私の京都芸大の染織専攻の知識の伝達について研究のために習った染織の技術のサンプルです。また、知識の伝達の可視化を作りました。これは修士論文でケーススタディとして使用されます。論文は知識の伝達について調査するために文化人類学の研究方法を使います。このケーススタディは「知識の伝達の物質文化の調査」チャプターで使用されます。その知識の伝達の物質文化は知識の伝達によって作成されて、知識の伝達の道具です。

論文は知識伝達の性状と歴史的条件の関係について研究するために歴史の研究方法も使います。京都市立芸術大学の染織学部の歴史について調査し、日本の美術と芸術の歴史について研究をし、習うことの理論と繋がりを考えます。